

名古屋刑務所等の訪問

2025年7月15日、可茂協議会の美濃加茂部会（美濃加茂市・坂祝町・富加町・川辺町・七宗町・八百津町・白川町・東白川村の委員で構成）の総勢23名で、名古屋刑務所とトヨタ産業技術記念館を訪問しました。



刑務官とグループに分かれての交流

名古屋刑務所は、バンテリンドーム7個分の敷地があり、職員407名、受刑者414名で、受刑者の最高齢は92歳です。受刑者の高齢化が進み、人工透析や歯科治療の施設もありました。法令の改正で、懲役刑・禁固刑から拘禁刑に変わり、矯正のための作業が行われています。適性に応じた、木工作業、高齢福祉的支援の提供、依存症回復支援の提供（薬物依存に対する民間施設DARC(ダルク)によるプログラム支援）があります。

親子で刑務官として働いている方に出会い、誇りを持って働いている姿に感動しました。刑務官と一緒に5グループに分かれて行った交流は、刑務所の日常が分かる貴重な時間でした。

帰りには、刑務所の作業で作られたベンチ、傘立て、収納箱、石けん等を購入する委員の姿もありました。

「近代宗教教誨発祥之地」碑文の前で



「近代宗教教誨発祥之地」とは、名古屋刑務所の前身、名古屋監獄に囚人教化を請願し、明治5年7月に認可を受けて実施したことによるものです。



トヨタ産業技術記念館の視察